



受講生募集!!



2025 年度高校生夏休み国際理解教育特別講座

今、地球社会が抱える問題を考える — 地球市民をめざして —

主催：NPO法人 愛・知・みらいフォーラム 共催：(公財)愛知県国際交流協会 後援：愛知県教育委員会

高校生のみなさん!!

いま地球上では、ウクライナ戦争やガザ戦争をはじめとした多くの紛争が起きており、国際秩序も大きく変化しようとしています。

また、この地域でも直面している難民問題や自然環境にも大きな影響を及ぼす食品ロスの問題は、貧困や飢餓、紛争とも密接に関わりがある課題です。

私たちは、地球市民としてこれらの課題にどう向き合っていけばよいのでしょうか。平和で持続可能な社会はどう築いていけばよいのでしょうか。

愛・知・みらいフォーラムでは、専門家の講師を交えて、みなさんに、こうした地球規模の課題への理解を深めていただく機会として、夏休みに特別講座を開催します。(受講料無料)

多くの高校生のみなさんのご応募をお待ちしています。

開催日 2025 年 7 月 26 日(土)

プログラム

時間	授 業 内 容・講 師
10:00～	オリエンテーション
10:15 ～10:45	講話 「身近なところから平和への道は始まる — 激動する世界と私たちの未来 —」 同志社大学大学院教授・名古屋大学名誉教授 中西久枝
10:50 ～12:10	授業①「日本で暮らす難民について考えてみよう」 名古屋国際工科専門職大学教授 佐藤久美 (特非)名古屋難民支援室コーディネーター 羽田野真帆
12:50 ～14:00	授業②「食品ロスの出ない持続可能な社会を目指す …私達は生命をいただいて生きてる…」 (一社)中部 SDGs 推進センター副代表理事 百瀬則子
14:10 ～15:10	グループ討論
15:10 ～16:40	全体会

国際理解教育特別講座とは

県内の意欲ある高校生を対象に、普通の授業ではあまり取り上げられない地球規模の課題について、講師と生徒との双方向の学びと他校の生徒との交流の中で、地球市民としての生き方を考える刺激的な機会の提供を目指すもの（2011年度から実施）。

2025年度のテーマ

SDGsの達成のために、今できること

- 主 催 特定非営利活動法人 愛・知・みらいフォーラム
共 催 公益財団法人 愛知県国際交流協会
後 援 愛知県教育委員会
- 開催日時 2025年7月26日(土) 10:00～16:40
場 所 あいち国際プラザ 2階 アイリスルーム
〒460-0001 名古屋市中区三の丸 2-6-1 愛知県三の丸庁舎
Tel: 052-961-8746
- 募集人数 愛知県内の高校生 約30名
申込方法 次の事項を記載して、6月13日(金)までに、電子メールで申込先まで送ってください。
- ① 氏名(ふりがな)、学校名、学年
 - ② 連絡先(住所(必須)及び、電話番号やメールアドレスなど連絡がつく方法をお知らせください。)
 - ③ グループ討論は、「授業①」か「授業②」いずれかのテーマに分かれて参加していただきます。(選択したいテーマがある場合には、その旨記載してください。ただし、申込状況によっては、変更をお願いすることがあります。)
- 受講決定 先着順とし、決定者には、当フォーラムから連絡します。(遅くとも、6月下旬までにお知らせします。)
- なお、決定者には、事前に講師作成の学習資料を送りますので、当日までに、学習資料の課題を自宅で済ませてください。また資料や課題は当日必ず持参してください。
- 申込先 愛・知・みらいフォーラム事務局
電子メール aichimiraiforum@gmail.com
- その他 暴風警報の発令等によっては中止する場合があります。その場合は、事前に連絡します。

募集案内は、ホームページにも掲載しています。

https://aichi-miraiforum.com/?page_id=73



中西 久枝(なかにし ひさえ)

同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科教授。名古屋大学名誉教授。国際政治学、中東地域研究が専門。イスラーム世界の女性の社会進出、中東の紛争と平和の構築を研究している。アジア、中東など 50 か国以上の滞在経験がある。また、アジア、中東各国からの留学生に囲まれ、大学では日々国際交流をしている。2006年から5年間日本ユネスコ国内委員会委員。2022 年 2 月から半年間ロンドン大学東洋アフリカ研究学院客員研究員として在英。

佐藤 久美(さとう くみ)

名古屋国際工科専門職大学教授。NPO 法人愛知善意ガイドネットワーク理事長。長年にわたり、この地域を拠点として、国際交流・多文化共生の理解促進のためのさまざまな活動を実践している。世界各地で、宗教の違いによって争いや問題が多発し、さまざまな事情を抱え母国を去らざるを得なかった難民も増加している中、異文化背景を持つ人々と共生できる社会を構築することは、日本の未来にとって大変重要であると語っている。

羽田野 真帆(はだの まほ)

NPO 法人名古屋難民支援室理事・事務局長・コーディネーター。小学生の時に渡米しさまざまな国籍・宗教の子どもと学校生活を送った体験から、帰国後、難民支援の取り組みに関わってきた。2012 年の名古屋難民支援室開設時よりコーディネーターとして活動している。日本に暮らす難民が保護され、安心して自立した生活が送れるよう、難民への法的支援や生活支援事業に携わるとともに、難民問題についての理解促進にも取り組んでいる。

百瀬 則子(ももせ のりこ)

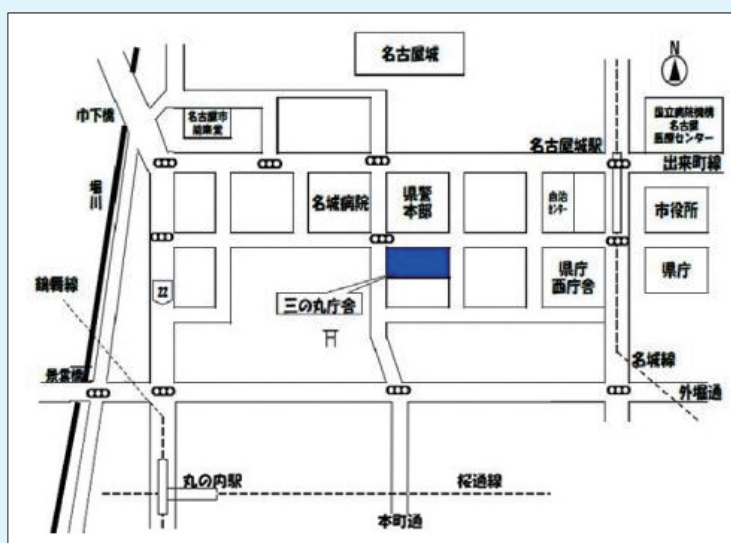
一般社団法人中部 SDGs 推進センター副代表理事。ワタミ(株)SDGs推進本部長。食品リサイクル・容器包装リサイクルといった食品産業の取り組みに加え、消費者自身が食品ロスを出さないライフスタイルに取り組む「一人一人の SDGs」を推進している。また、男女雇用機会均等法以前の世代が、どのように企業や社会で働きキャリアを積んできたか、その間にどんな困難に会いどう克服してきたかについて講演するなど、女性の活躍推進にも取り組んでいる。

2024年度特別講座の様子



あいち国際プラザ (愛知県三の丸庁舎内) のご案内

- ・地下鉄名城線「名古屋城」駅 5 番出口から徒歩 5 分
- ・地下鉄鶴舞線・桜通線「丸の内」駅 1 番出口から徒歩 10 分



「愛・知・みらいフォーラム」は、未来を担う青少年が地球市民としての人間形成を図り、持続可能な社会の形成と国際協力・国際平和に寄与できるような教育的支援を行うことを目的として、2007年に設立された NPO 法人です。詳しい活動内容は、当フォーラムのホームページをご覧ください。

また、2024年度の「高校生夏休み国際理解教育特別講座」の開催記録(動画を含む)もホームページでご覧いただけます。

特定非営利活動法人

愛・知・みらいフォーラム

<https://aichi-miraiforum.com/>

